

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年11月11日
【四半期会計期間】	第29期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	株式会社ウイン・インターナショナル
【英訳名】	WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 秋沢 英海
【本店の所在の場所】	東京都台東区台東四丁目24番8号
【電話番号】	(03)5688-0878(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員総務部長 村田 裕可
【最寄りの連絡場所】	東京都台東区台東四丁目24番8号
【電話番号】	(03)5688-0878(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員総務部長 村田 裕可
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第28期 第2四半期 累計期間	第29期 第2四半期 累計期間	第28期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	14,295,332	15,685,465	29,258,841
経常利益(千円)	673,762	763,645	1,461,019
四半期(当期)純利益(千円)	392,859	442,782	854,006
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金(千円)	330,625	330,625	330,625
発行済株式総数(株)	12,303,400	12,303,400	12,303,400
純資産額(千円)	6,216,997	6,739,690	6,674,085
総資産額(千円)	14,313,362	15,001,076	14,728,661
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	31.93	36.24	69.41
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
1株当たり配当額(円)	-	-	25.00
自己資本比率(%)	43.4	44.9	45.3
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	30,211	565,481	616,405
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	5,731	107,045	123,868
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	359,541	408,400	399,237
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	3,609,811	4,076,745	4,026,709

回次	第28期 第2四半期 会計期間	第29期 第2四半期 会計期間
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年9月30日	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	15.81	18.81

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高につきましては、消費税等は含まれておりません。

3. 持分法を適用した場合の投資利益につきましては、持分法を適用する関連会社が存在しないため記載しておりません。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期累計期間における医療業界は、医療費抑制を目的とする近年の医療制度改革の影響により、引き続き厳しい経営環境が続いております。医療機関におきましては、財政悪化からコスト削減に踏み切らざるを得ない環境になっており、納入業者に対する値下げ圧力が高まる傾向にあります。当社をはじめとする医療機器販売業者は、こうした顧客の置かれた環境を的確に把握し、ニーズに即した質の高いサービスを提供することが求められております。

このような状況のもと、当社は低侵襲治療と心臓治療というコアビジネスを軸に、業容拡大に努めました。

この結果、当第2四半期累計期間における当社全体の売上高は15,685,465千円（前年同期比9.7%増加）、経常利益は763,645千円（前年同期比13.3%増加）、四半期純利益は442,782千円（前年同期比12.7%増加）となりました。

なお、当第2四半期累計期間の業績といたしましては、売上高、経常利益は過去最高の結果となっております。

セグメントの状況は以下のとおりであります。

< 消耗品関連 >

新規顧客の獲得を目指すとともに、既存顧客に対しても患者数の増加策を提案し、また従来取引のなかった診療科目にも積極的に営業を行うことで、販売数量を増加させることに注力いたしました。

この結果、主力の薬剤溶出ステント（DES）の販売数量が伸びたことや、ペースメーカー等の心臓律動管理（CRM）関連商品の販売が好調に推移いたしました。その他にも、下肢や頭頸部等、末梢血管の低侵襲治療で用いられるPTAバルーンカテーテルや動脈瘤の低侵襲治療で用いられるステントグラフト等の販売が増加いたしました。また、目標販売数量等を設定した上でのレポートプログラム等により利益率の維持、向上に努めました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は15,522,562千円（前年同期比10.2%増加）、セグメント利益は1,082,932千円（前年同期比9.1%増加）となりました。

< その他 >

消耗品関連の営業部門との連携を強化し、医療設備建築や大型医療機器販売に関する情報を正確かつ迅速に把握することで、消耗品ビジネスと一体になった営業活動に注力いたしました。

しかしながら、前期にあったような大型医療機器の販売が減少したため、当第2四半期累計期間の売上高は162,903千円（前年同期比23.2%減少）、セグメント損失は10,009千円（前年同期比 - ）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、前期末と比較して50,036千円増加して、4,076,745千円となりました。主な要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、純粋な営業活動において得られた収入が850,743千円（前年同期は404,866千円の収入）ある一方、法人税等を286,917千円支払ったこと（前年同期は377,903千円の支払）等により、565,481千円の収入（前年同期は30,211千円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得により66,327千円の支出（前年同期は18,157千円の支出）があったこと等により、107,045千円の支出（前年同期は5,731千円の収入）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前期の配当金を307,576千円支払ったこと（前年同期は319,885千円の支払）や自己株式の取得により61,224千円の支出があったこと（前年同期は56千円の支出）等により、408,400千円の支出（前年同期は359,541千円の支出）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

なお、前事業年度に掲げた課題のうち、シェアアップのための新規顧客開拓については、営業部門全体として継続的に取り組んでおります。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	47,000,000
計	47,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月11日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	12,303,400	12,303,400	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	12,303,400	12,303,400	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	-	12,303,400	-	330,625	-	196,875

(6)【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
秋沢 英海	東京都新宿区	4,106,300	33.38
ビービーエイチフォーフィデリティー ロープライスストックファンド (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	40 WATER STREET, BOSTON MA 02109 U.S.A (東京都千代田区丸の内2-7-1)	800,071	6.50
グリーンホスピタルサプライ株式会社	大阪府吹田市春日3-20-8	800,000	6.50
メロンバンクエヌエートリーティー ク ライアントオムニバス (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	ONE MELLON BANK CENTER, PITTSBURGH, PENNSYLVANIA (東京都千代田区丸の内2-7-1)	430,229	3.50
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	400,000	3.25
古川 國久	大阪府吹田市	381,500	3.10
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1-6-6	250,000	2.03
三田上 浩美	千葉県柏市	203,400	1.65
鴫田 金光	千葉県千葉市美浜区	200,000	1.63
伊藤 成幸	東京都台東区	200,000	1.63
計	-	7,771,500	63.17

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 100,300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,202,600	122,026	-
単元未満株式	普通株式 500	-	-
発行済株式総数	12,303,400	-	-
総株主の議決権	-	122,026	-

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
株式会社ウイン・インターナショナル	東京都台東区台東4丁目 24番8号	100,300	-	100,300	0.82
計	-	100,300	-	100,300	0.82

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号。）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び当第2四半期累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,026,709	4,076,745
受取手形及び売掛金	7,947,010	8,158,566
商品	778,127	742,073
その他	275,337	307,316
貸倒引当金	250	260
流動資産合計	13,026,934	13,284,442
固定資産		
有形固定資産	1,168,387	1,180,217
無形固定資産	95,677	103,233
投資その他の資産	437,662	433,183
固定資産合計	1,701,727	1,716,634
資産合計	14,728,661	15,001,076
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,235,678	7,429,686
1年内返済予定の長期借入金	72,600	74,000
未払法人税等	286,671	326,959
賞与引当金	107,125	119,468
その他	146,801	133,443
流動負債合計	7,848,875	8,083,559
固定負債		
長期借入金	41,000	-
退職給付引当金	163,701	176,827
その他	1,000	1,000
固定負債合計	205,701	177,827
負債合計	8,054,576	8,261,386
純資産の部		
株主資本		
資本金	330,625	330,625
資本剰余金	196,875	196,875
利益剰余金	6,116,870	6,252,076
自己株式	202	61,202
株主資本合計	6,644,168	6,718,374
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	29,916	21,315
評価・換算差額等合計	29,916	21,315
純資産合計	6,674,085	6,739,690
負債純資産合計	14,728,661	15,001,076

(2) 【四半期損益計算書】
【第 2 四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	14,295,332	15,685,465
売上原価	12,415,510	13,618,386
売上総利益	1,879,821	2,067,079
販売費及び一般管理費	1,212,300	1,308,017
営業利益	667,520	759,062
営業外収益		
受取利息	1,298	419
受取配当金	3,492	2,028
不動産賃貸料	1,825	1,825
その他	1,253	1,432
営業外収益合計	7,870	5,705
営業外費用		
支払利息	1,582	852
自己株式取得費用	-	224
その他	45	45
営業外費用合計	1,628	1,122
経常利益	673,762	763,645
特別利益		
投資有価証券売却益	5,607	36
特別利益合計	5,607	36
特別損失		
固定資産除却損	739	659
特別損失合計	739	659
税引前四半期純利益	678,630	763,023
法人税等	285,771	320,240
四半期純利益	392,859	442,782

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	678,630	763,023
減価償却費	50,489	82,771
売上債権の増減額(は増加)	672,580	211,556
たな卸資産の増減額(は増加)	269,877	36,053
仕入債務の増減額(は減少)	658,738	194,008
その他	68,218	13,556
小計	404,866	850,743
法人税等の支払額	377,903	286,917
その他	3,248	1,655
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,211	565,481
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	18,157	66,327
投資有価証券の売却による収入	35,009	64
その他	11,119	40,781
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,731	107,045
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	39,600	39,600
自己株式の取得による支出	56	61,224
配当金の支払額	319,885	307,576
財務活動によるキャッシュ・フロー	359,541	408,400
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	323,598	50,036
現金及び現金同等物の期首残高	3,933,410	4,026,709
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,609,811	4,076,745

【四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1. 税金費用の計算	当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

【追加情報】

	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)	
第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
給与手当 529,384 千円	給与手当 565,411 千円
賞与引当金繰入額 96,161	賞与引当金繰入額 119,468
退職給付引当金繰入額 15,884	退職給付引当金繰入額 19,584

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在) (千円)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年9月30日現在) (千円)
現金及び預金勘定 2,709,926	現金及び預金勘定 4,076,745
有価証券勘定 899,885	現金及び現金同等物 4,076,745
現金及び現金同等物 3,609,811	

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月28日 定時株主総会	普通株式	319,885	26	平成22年3月31日	平成22年6月29日	利益剰余金

当第2四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	307,576	25	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	消耗品関連	その他	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,083,261	212,070	14,295,332	-	14,295,332
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	14,083,261	212,070	14,295,332	-	14,295,332
セグメント利益又は損失()	992,733	12,076	980,656	313,135	667,520

(注)1. セグメント利益の調整額 313,135千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	消耗品関連	その他	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,522,562	162,903	15,685,465	-	15,685,465
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	15,522,562	162,903	15,685,465	-	15,685,465
セグメント利益又は損失()	1,082,932	10,009	1,072,923	313,860	759,062

(注)1. セグメント利益の調整額 313,860千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	31円93銭	36円24銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	392,859	442,782
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	392,859	442,782
普通株式の期中平均株式数(株)	12,303,233	12,219,445

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月11日

株式会社ウイン・インターナショナル
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小野 純 司

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柳 沼 聖 一

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ウイン・インターナショナルの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第29期事業年度の第2四半期会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ウイン・インターナショナルの平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が四半期財務諸表に添付する形で、別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。